

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
(仮称)BELISTA皆実町

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.40			3.9
1 音環境		2.6	0.15	3.1	1.00	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 2 設備騒音対策			-		-	
1.2 遮音		2.0	0.40	4.3	0.40	
1 1 開口部遮音性能	A-037～039 防音型と遮音性能T2	2.0	1.00	5.0	0.30	
2 2 界壁遮音性能	S-25 R180t以上 評価マニュアルより		-	4.0	0.30	
3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	特-002 Lr-45以上		-	4.0	0.20	
4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr-50以上 ボイドスラブ計算書より		-	4.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		1.7	0.35	5.0	1.00	4.8
2.1 室温制御		1.7	0.50	5.0	1.00	
1 1 室温設定		1.0	0.63	-	-	
2 2 室温変動・過渡制熱性			-		-	
3 3 外皮性能	熱損失係数2.69W/(㎡・K) 日射取得係数0.05(㎡/㎡)	3.0	0.38	5.0	1.00	
4 4 ゾーン別制御性			-		-	
5 5 温度・湿度制御			-		-	
6 6 個別制御			-		-	
7 7 時間外空調に対する配慮			-		-	
8 8 気流システム			-		-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.4	1.00	3.4
3.1 昼光利用		4.2	0.30	2.9	0.50	
1 1 昼光率	A-033,035 計算書 評価マニュアル参照	5.0	0.60	4.0	0.50	
2 2 方位別開口			-	4.0	0.30	
3 3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50	
1 1 照明器具の配置			-		-	
2 2 昼光制御	A-020,21 住居部分 カーテンレール・BOX+庇あり	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
1 1 照度		3.0	1.00	-	-	
2 2 照度利用率			-		-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		4.0	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 1 化学汚染物質	特-001,A-008 室内全てF☆☆☆☆	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 2 空気清浄対策			-		-	
3 3 臭気・カビ対策			-		-	
4 4 放射線対策			-		-	
4.2 換気		4.0	0.40	3.0	0.38	
1 1 換気量	換気計算書より 5倍以上	5.0	0.50	3.0	0.33	
2 2 自然換気性能			-	3.0	0.33	
3 3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4 4 換気設備			-		-	
4.3 運用管理			-		-	
1 1 CO ₂ の監視			-		-	
2 2 喫煙の制御			-		-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.6	0.40	3.6	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	4.0	0.60	
1 1 広さ・収納性			-		-	
2 2 高度情報通信設備対応	E-32 LANケーブル5は1000BASE対応(資料添付)		-	4.0	1.00	
3 3 バリアフリー計画	広島県福祉まちづくり条例の適用施設事前協議書準備	4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 1 広さ感・景観			-	3.0	0.50	
2 2 リフレッシュスペース			-		-	
3 3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理			-		-	
1 1 維持管理に配慮した設計			-		-	
2 2 維持管理用機能の確保			-		-	
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-	3.4
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-	
1 1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.1	0.33		-	
1 1 躯体材料の耐用年数	A-001 特記事項「3-1」劣化対策等級3	5.0	0.23		-	
2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	A-008 マニュアル巻末補助資料より 60年	5.0	0.23		-	
3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09		-	
4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-	
5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔	M-02 建築設備の耐久性向上技術より	5.0	0.15		-	
6 6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-	

2.3 適切な更新				-		-	
2.4 信頼性			3.2	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	E-32 止水対策あり LANの設備は通信手段の多様化と評価	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり			-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	A-010.014 特-001 植込み、テラス、バルコニー等を広くとっている	4.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制		熱損失、熱取得の低減につとめている	5.0	0.40		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		M-06 エコキュート設置	5.0	0.40		-	5.0
4 効率的運用				-		-	-
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水	節水器具の設置	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
2	雑排水再利用システム導入の有無			-		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	S=11 杭＝高炉セメント	4.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ウオッシュレット便器CES9411エコマーク認定番号06 116 005	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	
1	消火剤	消防用設備等設置計画届出書 フロン・ハロンの使用なし	4.0	0.33		-	
2	断熱材	特-002 ノンフロン断熱材	5.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.9
1 地球温暖化への配慮		LCCO2が排出されにくい設計になっている	4.9	0.33		-	4.9
2 地域環境への配慮			3.5	0.33		-	3.5
2.1	大気汚染防止	M-04.05 燃焼機器不使用	5.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	A-010 十分な駐車スペースを設けている	4.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明なし	5.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	